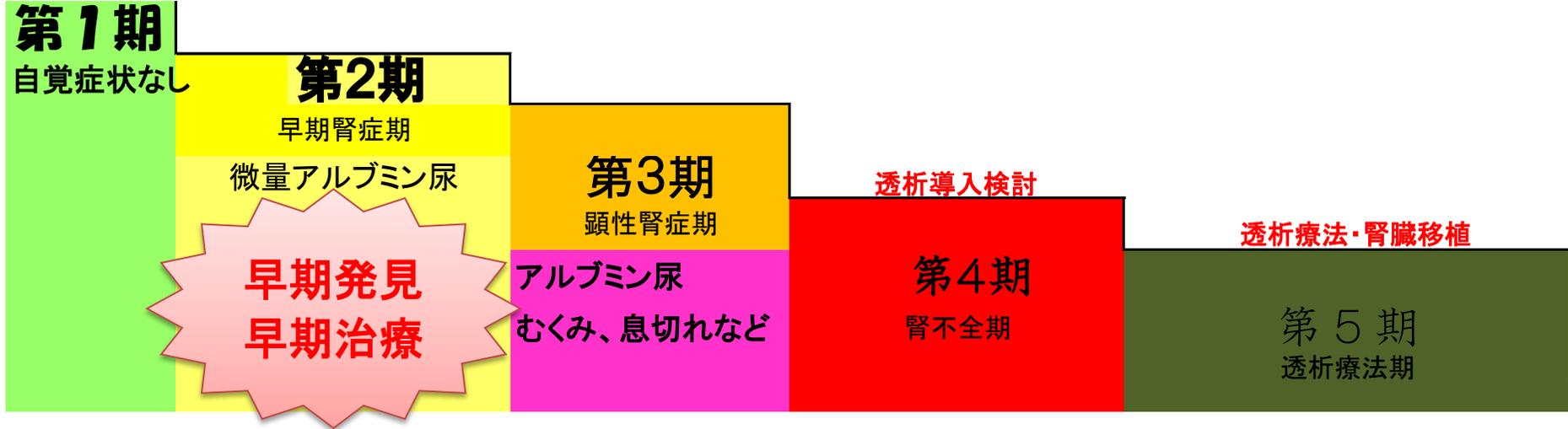


# 自分の腎臓の分類を知っていますか？

～透析をくいとめるには、早期から異常を見つけ、治療を始めることが必要です～

【糖尿病性腎症の臨床経過】



## ★自分の腎臓の分類を調べてみましょう★

《調べ方》

1、血液検査で“eGFR”を、尿検査で“尿中アルブミン定量”の値を出します。



これを開くと…

検査結果	
1日の食事指示内容	総エネルギー量: _____ kcal 蛋白質質量: _____ g/kg
検査日	施設 (P.13の記号を記入する)
体重(kg)	
血圧(mmHg)	
血糖値	空腹時 _____ (h) _____ (h)
HbA1c(NGSP)	
LDL/HDLコレステロール	
中性脂肪	
AST/ALT	
アミラーゼ/乳酸	
BUN/クレアチニン	
<b>eGFR</b>	<b>71.0</b>
尿アルブミン指数	12.5 mg/gCr
尿蛋白	定量 _____ g/gCr 定性 _____
腎症の病期	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4
透析の種類	透析 透析 透析 透析

2、下の表にあてはめて、2つの値を表上でクロスさせます。  
3、クロスで交わったところの値があなたの腎臓の分類です。

### 糖尿病性腎症分類表

尿アルブミン/Cre比 尿たんぱく/Cre比	たんぱく尿区分		
	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
29以下 0.14以下		30~299 0.15~0.49	300以上 0.50以上
90以上	1 / (—)	5 / (—)	9 / (—)
60~89	2 / (—)	6 / (—)	10 / (—)
45~59	3 / (—)	7 / (—)	11 / (—)
30~44	4 / (—)	8 / (—)	12 / (—)
15~29	13 / (—)	14 / (—)	15 / (—)
14以下	16 / (—)	17 / (—)	18 / (—)

腎臓を守るために自分の腎臓がどの段階にあるのか意識して、日頃から尿検査・血液検査を受けましょう。

2015. 4月 療養指導室